

# お客様の課題×画像・映像処理技術＝ソリューション 独自の技術で社会に貢献 業界を問わない問題解決力が強み

デジタルハンズ

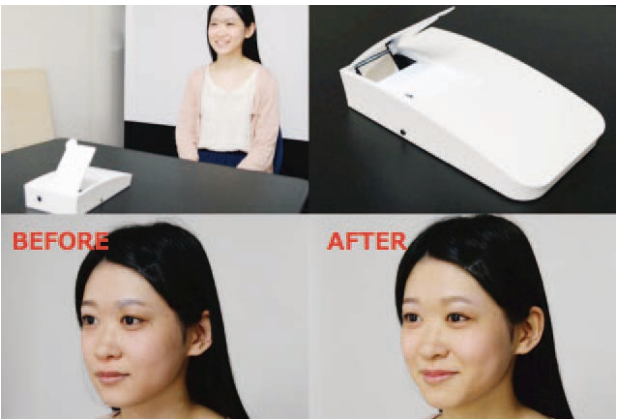
デジタルハンズ（横浜市港北区新横浜、清水敏雄社長、045・470・2040、<http://www.dhands.co.jp>）は、設立から18年。画像・映像系ソフト開発からスタートし、現在では企画開発、設計・施工、運用・保守を自ら手がけるまでに成長した。

「ソリューションビジネスで直接、社会貢献する」をビジョンとして掲げ、企業や社会が抱える課題や問題の解決につながるソリューションを提供し、継続的にビジネス化することを目標としている。独自の画像・映像・3D処理技術を応用して、公共向け訓練ソリューションをはじめ、自動車メーカー用安全運転支援装置開発、手術画像収録配信、メーカーアップシミュレーターなど、さまざまな分野にわたり多数の実績を持つ。

「当社の強みは、どんな企業とも



「中小企業の皆様に最適なソリューションを」ご連絡お待ちしております



同社の画像ソフト技術を活かしたメーカーアップシミュレーター

協力してともに新しい技術を生み出す点」と語る清水社長は、中小企業こそが真に社会を牽引する力があると考えている。同時に多くの中小企業が持つ素晴らしい技術や技術のまま埋もれさせないためにはどうすればいいのか、お客様にソリューションとして構築してご提供し、直接社会貢献をすることが同社の使命だと考えている。

最近では、一台のカメラで別アングルの写真を複数枚撮影することで、対象物の3Dデータを作成する技術を開発した。本来ならば大規模な機械や撮影技術が必要な3Dスキャンを、同社の技術力とノウハウで誰でも簡単に行うことができようになった。可搬性の向上やコストダウンはもちろん、精度は既存のものと同色なく仕上がる。

課題に悩む企業様、他に負けない技術を持つ企業様、ぜひご連絡を！